

平成30年度青森県（下北地域）地域医療構想調整会議

【議事要旨】

日 時 平成30年9月22日（土）午後2時～

場 所 むつグランドホテル1階「別館ホール」

（1）報告事項

①地域医療構想等の進め方等

②平成29年度病床機能報告の結果

事務局から、①について資料1、参考1、参考2、参考3、②について資料2-1、資料2-2、資料2-3に基づいて説明。

質疑はなかった。

（2）協議事項

①病院の機能分化・連携の方向性

②地域医療構想の実現に向けた病床の有効活用

事務局から、①について資料3、②について資料4に基づいて説明、案件ごとに意見交換を行った。

○むつ総合病院

・ 昨年の11月から、回復期として地域包括ケア病棟54床が稼働し、その分急性期の病床が減っている。54床という大きな数で始めたので、今後、微調整が必要になるかもしれないが、全体的な方策として回復期の病床は今の規模を維持していく。

・ 急性期の病床に関しては、2040年頃まで、下北地域の入院・外来数は殆ど変わらないという試算があげられていることから、病床を大きく削減することは難しいが、今現在の病床利用率を年間平均で見ると85%程度なので、今ある367床の一般病床の10～15%ぐらいは削減可能かもしれない。高度急性期・急性期の病床は280～300床程度必要と考えている。

○大間病院

・ 当院の取組としては、在宅医療関係に力を入れており、在宅で看取り等を積極的に行っている。

・ 急性期48床は多いと思われるかも知れないが、病床利用率60%強というのはあくま

でも平均値であり、冬期にはほぼ 100%になる。このような状況で病床を減らすと入院が必要なのにできない患者が出るだろう。もちろん、入院しないように、病気にならないようにすることが大切なので、予防医療にも力を入れているところではあるが。

- ・今後、大間などの北通り地区で高齢化が進んでいくのは目に見えているところで、現状、外来の患者は、確かに人口と共に減っているが、入院患者の数は増えており、その中でも高齢者の割合が増えている。急性期で入院してきた患者はなるべく早く退院させたいところだが、老々介護や独居の方が多いため在宅に帰すのは現実的でない。施設も施設側でのスタッフ不足などがあり、退院先がなかなか見つからないのが現状。

- ・入院から在宅まで上手く回すにも、施設や在宅の場合、家族の協力が必要になるので、そのあたりを上手くやっていかなければと常日頃思っているところ。

- ・病床の機能を急性期から回復期の地域包括ケア病床に移行させる等の話し合いはしているが、当院は一部事務組合下北医療センター管理下の病院であり、独自に意思決定はできないため、現在、むつ総合病院を含め、何床をどのような病床に変えるのがよいか、ということコンサルタントに試算してもらっているところで、その結果が出てから具体的な検討を進めることとしている。

○むつリハビリテーション病院

- ・当院はむつ下北医師会に指定管理をお願いしている。

- ・許可病床 120 床のうち医療療養病床が 80 床、介護療養病床が 40 床となっており、介護療養病床 40 床の転換については、現在、下北医療センターにおいて、先ほどの大間病院と同様に、医療機能等整備計画を策定中。その結果を踏まえ、関係団体と十分協議した上で、あり方を検討していきたい。

(3) その他

①在宅医療等の確保の方向性

②基金を活用した補助制度

事務局から①、②について参考 4、参考 5 に基づいて説明。

○むつ下北歯科医師会

- ・今年の 4 月からポータブルユニットの補助金が出るということで、県内の多くの先生が申請しているようだが、当地域からの申請は 1 件もない。

- ・平成 28 年度のこの会議で「むつ下北の歯科診療所の数そのものはあるかもしれないが、いろいろと諸事情で十分に機能していない部分もあるので実際には不足している。」と申し上げたところ、県からは、そのような認識はないと言われたと強く感じている。

- ・資料 3 の表での歯科医師の数は下北地域 31 名となっているが、10 万人当たりの人口比では 40 人と、全国と比べると少ない。県内でも少ない方。平均年齢は 64 歳ぐらいで

中には闘病している方もいる。そのような状況で、補助があるからといって、自分の診療所を維持するほかに訪問診療できるか疑問。もし私が在宅に行けと言われたら、最初にやることは従業員のリストラになるだろう。訪問診療に行っている間は診療所を閉めることになるので、結果的に収入が減り、雇用を継続できないからである。

- ・これから先、若い歯科医師がどんどん入ってくるということは考えにくい、歯科医師は必ず不足する。今、私よりもずっと年齢の高い人が歯科診療をしているので、10年後には医療機関数は半分程度になるだろう。

- ・入院から在宅に移った患者を、管理していくには、摂食障害や嚥下障害などに対応できる歯科医師をむつ総合病院に配置して口腔管理をしてもらうのが現実的ではないか。我々のような専門でない人間が在宅と言っても十分なケアはできない。

- ・資料 3 の表に歯科衛生士の数が掲載されていないことに関しては疑問を感じる。一番大事なのは歯科衛生士。歯科医師が抜歯をしたり、入れ歯を作ったりするためには、診療所の中が適正に管理されている必要があり、そのメンテナンスをする歯科衛生士の数は在宅医療について考える上では重要な指標である。

○県薬剤師会

- ・下北地域で平成 37 年に 167 人/日の在宅医療の患者を支えるとなると薬剤師数が足りない。日常の業務の空いた時間を使ってやっていかなければならないし、薬局に 1 人しか薬剤師がない場合は閉めることになるので、外来の患者に迷惑がかかる。そういう高いハードルがあるので在宅が進んでいかないのだと感じる。

- ・むつ下北地域でも在宅を行う薬局は増えてはいるが、各薬局からは、1 人に対する負担がかなり大きいと聞いている。在宅医療に取り組みやすい環境整備をもう少し考えていただきたい。

○青森県看護協会

- ・看護協会の下北支部の今後の予定、イベントなどを紹介させていただく。11 月 10 日、11 日にむつ市のイベントに看護協会健康増進事業として参加する。12 月 8 日には、むつ総合病院の地域包括ケアの役割、下北圏域における病院・診療所からの在宅に向けた取組や支援について、病院、診療所、看護、介護に携わる方々を集めて症例発表会を開き、情報共有を行う。

○むつ市

- ・当市では、昨年の 4 月からむつ総合病院の御協力を得て、在宅医療・介護連携支援センターを開設し、各種事業を行っている。

- ・特に昨年度は、市内のケアマネージャーにアンケート調査を実施し、入院時にケアマネージャーから病院へ情報提供があった割合が 70.3%、そして、逆に退院時に病院からケ

アマネージャーに情報提供のあった割合が 85.9%という結果が出ており、医療と介護の連携が進んでいるようである。

○東通村

・当村では、介護事業所、包括支援センター、地域医療振興協会に委託し、東通村診療所の先生とも連携しながら、情報共有を図っている。施設等を稼働した時からやっていることだが、今回の法改正等に伴って、これらを強く推進していく。

(村上アドバイザー)

- ・地域医療構想調整会議は、国の人口減少への対応、医療費削減のもとに始められたもの。
- ・下北地域については、先生方が声を上げて現在の状況を御説明なさった方が良いのではないか。
- ・私も医局時代、川内病院に何年か勤務したことがあり、むつ病院には毎日のようにお願いごとをした経験がある。大間病院、川内診療所、東通診療所も、常にむつ総合病院をメインにおきながら連携していかないと、下北住民の健康管理はできない。
- ・高齢者の医療について、在宅に移行させて病院のベッドは使わないようにさせるのが国の方針。ただ、下北地域はそういうことが許される状況ではないし、常に皆で手を取り合って連携しないといけない。例えば、六ヶ所のサイクルで何かあった場合、避難道は国道279号しかないので、一定期間むつ総合病院で、全ての健康管理をしなくてはならない局面もあり得る。国の方向を理解するのもよいが、同時に下北を守っていく方法も考えていかなければならない。むつ総合病院から、50床を地域包括ケア病床に転換したと報告があったが、弾力的に地域包括ケア病床を活用するのは1つの方法だと思う。
- ・下北地域においては、むつ総合病院に医療資源を集約し、10対1の看護配置で急性期医療を維持し、いつでも誰でも使える状態こそ、地域住民が最も安心できる状態ではないか。

○むつ下北医師会

- ・下北地域はマンパワー、コメディカル、医師含め、非常に少ない状況である。
- ・問題点として、平成37年度に167人/日の在宅を誰が担うのか。7年後、私は70歳を超えるが、下北の他の医師の多くはそういう状況になる。
- ・当会ではむつリハビリテーション病院の指定管理もしており、医師確保のためにいろいろ算段したが、20年経っても見つからない状況。今現在、常勤医3人が3日に1回の当直をしている。
- ・県の在宅や設備整備に対する補助制度はありがたいが、下北は他の地域と違う。県と県医師会に対しては何とか医師の確保をお願いしたい。むつ市長も苦勞しているようだが、なかなか見つからない状況。私も友人、知人を頼っているいろいろをお願いをしているが、な

かなか見つからない。

・7年後、平成37年に誰も担えないという状況もあり得るので、県の皆さんのお力をいただきたい。